

ハートレーニング 修了生 活躍事例

「設備分野を目指すなら、専門学校を選択するのが最も効果的な進路だと思います。」「ここで学んだ全てが、現在活かされています。」

▶訓練機関 岡山県立南部高等技術専門学校

▶訓練科名 環境設備工学科

▶修了生名 なかにし りゅうや 中西 龍也さん

【出身高校：岡山県立倉敷工業高校 電子機械科（平成21年度卒）】

▶事業所名 山陽技研株式会社



写真：修了生中西さん(右)と森上先生

●修了生の声

◇現在のお仕事の内容は？

配管工事の現場代理人として、病院の新築工事に携わっています。飲み水や手洗いで使用する給水配管や汚れた水を適切に外に排出するための排水配管など、建築設備配管の施工管理を行っています。

この現場は、今まで担当してきた中でも最大級のもので、3人体制を編成し運営されています。日々の業務は、建物そのものを建てる建築の責任者や、配管工事作業を行う職人さんと打ち合わせをし、その結果を「施工図」という配管するための説明書のようなものにその都度反映することです。これらの業務を日々積み重ね、最終的に1つの建築物を完成させます。

◇入社当初からすぐに管理業務を？

2年の訓練期間を経て2012年3月に環境設備工学科（当時 建築設備科）を修了し、同年4月に入社しました。

入社1年目はOJTの期間でした。先輩に付き、実際の業務である施工図や打ち合わせ等の補佐をしながら、管理業務のイロハを学びました。

2年目以降は一人で現場を任せてもらえるようになりました。次第に担当する現場の規模が大きくなり、現在に至ります。

◇環境設備工学科を受講したきっかけは？

実家が水道業を営んでいる関係上、将来的には家業を継ぐことを目標としていましたので、建築設備を専門的に学べる学校を探していました。

そんな中、2年という訓練期間の中で建築設備に係る様々な事が学べる専門校の存在を知り、多くの資格を取得できるところに魅力を感じました。

◇入校するにあたり、不安はありませんでしたか？

環境設備工学科は同じ年齢の新高卒者だけでなく、離転職者の方も対象ですので、その方々とうまくやっていけるかという不安はありました。しかし、入校してみると非常に仲良くする事ができ、修了して数年経った今でも情報交換し交流が続いています。

◇職業訓練を受講して、印象に残っていることは？

中央職業能力開発協会が主催する「技能五輪全国大会」への出場を経験したことです。出場するからには何か結果を残したいという思いがあり、帰宅後も自主練習に励み、入賞することができました。

◇今後専門校へ入校する方にメッセージをお願いします。

少しでも建築設備に興味があれば入校して損はしないと思います。むしろお勧めします。専門校で2年間学んでからのスタートは仕事を行う上で非常に助けとなっています。

また、職人さんをはじめとする現場関係者の皆様と円滑にコミュニケーションが図れているのは、離転職者の方々とともに学べる環境でコミュニケーション力が培われたからだと思います。

建築設備業界は建築などと密接に関連した業界です。

最近では特に若年層が少なく、人材に対する需要は高いです。

(作業所長 ^{いせもと ひろかず} 伊勢本 浩一 様より)

●上司の方の声

◇中西さんの仕事ぶりはいかがですか？

人間的にまじめであり、勤務態度も良く自分から率先して仕事をこなしてくれています。作業員ともコミュニケーションを積極的に取って現場をまとめてくれていますので、彼と一緒に仕事をする上で、非常にやりやすく助かっています。

◇求める人材は？

仕事に対して責任とプライドを持ち、常に自分の技術を向上させる上昇志向を持って、自分が何をすべきか積極的に考えて行動できる方が求められます。

▲会社情報▲

山陽技研株式会社

本社：岡山市北区青江4丁目8番1号

倉敷営業所：倉敷市北畝2丁目17番27号

事業内容：空気調和・衛生・環境衛生・防災・設備工事の設計及び施工
一級建築士事務所

・「見学希望！」の方、ご連絡ください。

岡山県立南部高等技術専門校

TEL 086-424-3311

Fax 086-424-3344

〒710-0038 倉敷市新田3241

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/199/>

【アクセス】

JR倉敷駅前「下電バス」

6番乗り場から、JR児島駅方面行き
八軒屋北(約15分)で下車、徒歩3分

